

おとめぶんらく

乙女文楽ってなに？

「文楽」と「乙女文楽」

乙女文楽とは、三人遣いの人形浄瑠璃文楽から誕生した、一人遣いの伝統人形芝居です。

文楽は、一体の人形を三人がかりで操ることで、動きや気持ちを繊細に表現します。人形はまるで生きているかのような迫力があり、その素晴らしさでユネスコの「無形文化遺産」にも認められています。

乙女文楽ではそれを一人で遣うため、人形に様々な工夫が施されています。その秘密は特殊な金具です。遣い手はこの金具を体に装着し、全身をつかって人形を操ります。つまり「乙女文楽」は体の動きがとても大切です。だから踊りや演劇の楽しさも一緒に味わえるとてもユニークな人形芝居です。

初級
クラス

ににんさんばそう
稽古演目 **二人三番叟**

時間：10:00～12:00

会場：ひとみ座スタジオ
(川崎市中原区井田3-10-31)

講師：ひとみ座乙女文楽の人形遣い

定員：10名(先着順)

参加費：無料 持ち物：白足袋(しろたび)



発表会の様子 初級クラス「二人三番叟」(左)、上級クラス「傾城阿波の鳴門」順礼歌の段

上級
クラス

けいせいあわ なると じゅんれいうた だん
稽古演目 **傾城阿波の鳴門 順礼歌の段**

対象：乙女文楽教室3年目以上の参加者 ※詳細はお問い合わせください。

稽古の日程と内容 (原則として全期間参加)

7月30・31日

基礎編 動きの基礎をしっかりと身につける!

お辞儀や、姿勢、かまえ、歩き方から始め、基本動作を覚える。

8月5・6・20・21・22日

スキルアップ編・その① 人形を遣う

人形を遣って稽古。

ミニ
講座

乙女文楽の効果音と音楽

き な もの ぎだゆう しゃみせん
“柝・ツケ・鳴り物” “義太夫・三味線”

9月1・8・14日

スキルアップ編・その② 表現を深める

人形を遣っての表現に磨きをかける。

ミニ
講座

乙女文楽の縁の下の力持ち

こうけん こうじょう
“後見 と 口上”

9月15日

発表会 稽古の成果を披露!

※日程は変更となる場合があります。

第六回 ひとみ座 乙女文楽教室 FAX専用申込用紙 FAX **044・777・3570**

参加者のお名前

ふりがな

学校

学年

性別

男 女

住所 〒

電話番号

FAX番号

お申し込み・お問い合わせ：(公財)現代人形劇センター (川崎市中原区井田3-10-31)

TEL 044-777-2228 FAX 044-777-3570 E-MAIL asia@puppet.or.jp

当センターの運営には、EUジャパンフェスト日本委員会より助成を受けています。